

目次	会務報告	303
	第22回青空地衣教室（千葉県内浦山県民の森）の報告／木下靖浩・安斉唯夫	303
	第22回青空地衣教室（千葉県内浦山県民の森）で観察された地衣類／木下靖浩・原田浩	304
	青空地衣教室（千葉—内浦山県民の森）に参加して／小澤武雄	305
	お知らせ	305
	次期会長選挙結果／庶務幹事	305
	評議員選挙の実施について／日本地衣学会選挙管理委員会委員長	306

## 会務報告 Reports of the JSL Activities

### 第22回青空地衣教室（千葉県内浦山県民の森）の報告

Report of the 22nd Outdoor School on Lichens at Uchiura-yama kenmin-no-mori, Chiba-ken / Kinoshita Y. & Anzai T.

木下靖浩・安斉唯夫：地域活性化委員会関東

千葉県鴨川市において第22回青空地衣教室が開催されましたので、報告いたします。

\* \* \*

開催日：2007年12月22日（土）

開催場所：千葉県鴨川市内浦山県民の森

講師：原田浩氏（千葉県立中央博物館）

参加者数：7人（講師を含む）

\* \* \*

関東地区での青空地衣教室は年に2回のペースで開催しており、2回目は例年では10月ないし11月に開催していますが、今年は年も押し詰まった12月下旬での開催となりました。



図1. キャンプ場でトゲハクテンゴケを観察中。

内浦山県民の森は南房総に位置するため、本来は温暖な場所ですが、当日は曇り空で風もあり、寒さをこらえながらの観察会となりました。この場所は近年ヒルが増え、春から秋の季節に森を散策するときはヒル対策を万全にする必要があるそうで、実際に、公園内の各所に塩水のスプレーが置かれていました。しかしながらこの寒さのため、一人もヒルに会うことなく観察することができました。

県民の森に入って直ぐの辺りのサクラには、ウメノキゴケ、マツゲゴケを初め、多数の地衣が着生していました。サルオガセ属やゴンゲンゴケ属も認められ、環境が良く空中湿度の高い場所であることが伺われました。

県民の森内のレストランで昼食を取って暖まった後、さらに県民の森を奥に入って、観察を続けました。千葉県としては珍しいトゲトコブシゴケも認められ、たっぷり地衣を楽しんだ一日となりました。

## 第22回青空地衣教室（千葉県内浦山県民の森）で観察された地衣類

Lichens observed during the 22nd Outdoor School on Lichens at Uchiura-yama kenmin-no-mori (Chiba-ken) / by Harada H., Kinoshita Y. & Anzai T.

原田 浩\*・木下靖浩\*\*・安斉唯夫\*\*：\*千葉県立中央博物館・\*\*地域活性化委員会関東

2007年12月22日、内浦山県民の森（千葉県鴨川市）で開催された第22回青空地衣教室において、現地でも定した地衣類のリストを示す。なお、現地では標本を採集していない。

\* \* \*

*Bacidia hakonensis* ハコネイボゴケ  
*Bulbothrix isidiza* フトネゴケ  
*Caloplaca flavovirescens* ツブダイダイゴケ  
*Cetrelia braunsiana* トゲトコブシゴケ  
*Cladonia fruticulosa* タイワンレンゲゴケ  
*Cladonia humilis* ヒメジョウゴゴケ  
*Cladonia ramulosa* ヒメレンゲゴケ  
*Cladonia subcariosa* マキバハナゴケ  
*Coenogonium luteum* ダイダイサラゴケ  
*Cresponia proximata* カシゴケ  
*Fellhanera bouteillei* ヒノキノアオバゴケ  
*Gyalideopsis japonica* スゲガサゴケ  
*Dirinaria applanata* コフキジリナリア  
*Flavoparmelia caperata* キウメノキゴケ  
*Hypotrachyna nodakensis?* ノダケウメノキゴケ?

*Hypotrachyna osseoalba* ゴンゲンゴケ  
*Hypotrachyna pseudosinuosa* タカハシウメノキゴケ  
*Hypotrachyna revoluta* ハコネゴンゲンゴケ  
*Lecanora nipponica* レカノラニッポニカ  
*Lecanora pulverulenta* コナイボゴケ  
*Maronea constans* アオチャゴケ  
*Menegazzia terebrata* センシゴケ  
*Myelochroa entotheiochroa* クズレウチキウメノキゴケ  
*Myelochroa hayachinensis* ハヤチネウメノキゴケ  
*Myelochroa irrugans* ウチキウメノキゴケ  
*Myelochroa leucotylica* ヒカゲウチキウメノキゴケ  
*Opegraha sp.* キゴウゴケ属  
*Parmotrema austrosinense* ナミガタウメノキゴケ  
*Parmotrama mellissii* ニセマツゲゴケ  
*Parmotrama subpallescens* ウスイロマツゲゴケ  
*Parmotrema tinctorum* ウメノキゴケ  
*Parmelinopsis minarum* トゲウメノキゴケ  
*Parmelinopsis spumosa* コナヒメウメノキゴケ  
*Pertusaria pustulata* オリーブトリハダゴケ

*Physciella melanchra*

ムカデコゴケ

*Usnea bismolliuscula*

コフクレサルオガセ

*Punctelia rudecta*

トゲハクテンゴケ

*Usnea rubrotincta*

アカサルオガセ

*Rimelia clavulifera*

マツゲゴケ

## 青空地衣教室（千葉一内浦山県民の森）に参加して

My experiences at the 22nd Outdoor School on Lichens at Uchiura-yama kenmin-no-mori, Chiba-ken, central Japan, December 2007 / by OZAWA Takeo

小澤武雄：栃木県

昨年、定年退職をして、多少自由になる時間ができたので、以前から興味があった地衣類の勉強を再開しました。日本地衣学会には、創設当初から入会させていただいたのですが、ずっと学会の活動に参加していませんでした。やっと伊豆下田での第6回観察会から参加をさせていただくようになりました。というわけで・・・・・・・・

12月22日（土）の房総半島安房小湊・内浦山県民の森で開催された観察会にも参加しました。

午前10時頃、安房小湊駅に集合し、2台の車に分乗して観察地へ向かいました。途中、サクラ等の樹皮に着生する地衣類の観察をしました。講師の原田先生から、まず、代表的な地衣のウメノキゴケ、マツゲゴケ、キウメノキゴケの観察のポイントの説明がありました。その後、トゲウメノキゴケ、コナヒメウメノキゴケ、ニセマツゲゴケ、ゴンゲンゴケなど次々と解説がありました。特に、マツゲゴケとニセマツゲゴケの違い、トゲウメノキゴケとコナヒメウメノキゴケの観察ポイントなど、私にとっては実物を観察することでしっかりと理解することができました。特に印象に残ったのは、スゲガサゴケ (*Gyalideopsis japonica*) という地衣が観察できたことです。その他多くの地衣類を観察しているうちに、

あっという間に時間が過ぎ、午前中の観察を終了しました。

駐車場の近くの食堂で暖かい昼食をとり、その後のひとは、この地域に棲息するヒルの話で盛りあがりました。

午後の観察では、午前中に観察した地衣類の復習とカシゴケ、ダイダイサラゴケ、アオチャゴケ、チャシブゴケの仲間、ハコネイボゴケなど痲状地衣を多く観察しました。

今回の観察会は、冷たい風の吹く、寒い日でしたが、私にとっては、マツゲゴケ、ニセマツゲゴケ、ウスイロマツゲゴケやゴンゲンゴケ、ハコネゴンゲンゴケ、ハヤチネウメノキゴケ、ノダケウメノキゴケ、タカハシウメノキゴケなどを比較観察できたことがすばらしい成果でした。

最後に、すばらしい観察ポイントを解説してくださった原田先生、そして、この観察会のお世話をしてくださった安斉さん、木下さんに深く感謝いたします。ありがとうございました。また、つぎの機会に参加をしたいと楽しみにしております。

## お知らせ News and Announcements

### 次期会長選挙結果

小峰正史：庶務幹事

山本好和会長（秋田県立大学）の任期満了（2007年12月末日）に伴う、次期会長選挙が実施された。会長

選出の内規に基づき、評議員会から山本氏が会長候補として推薦された。その他には立候補が無かったため、信任投票となった。その結果、以下のように、山本氏が信任され、再選を果たした。

\* \* \*

開票日：2007年10月11日

信任 58票

不信任 0票

無効票 0票

選挙管理委員会：岩崎郁子（委員長），臼庭雄介

立会人：加賀谷繭，佐藤ひかり

\* \* \*

次期会長となった山本氏は、会長の選出についての内規（5）に基づき、幹事に小峰正史（庶務幹事），原光二郎（会計幹事）（両名とも秋田県立大学）を，編集委員長に原田浩（千葉県立中央博物館）を指名した。

---

## 評議員選挙の実施について

**岩崎郁子**：日本地衣学会選挙管理委員会委員長

日本地衣学会の皆様

予定より大幅に遅れて申し訳ありません。

日本地衣学会会則第11条ならびに「役員等選出についての細則」に基づき、下記要領にて日本地衣学会時期評議員選挙を実施します。会員の皆様には同封の被選挙

人名簿の中から適任者氏名を5名連記頂き、同封の封筒にて選挙管理委員会までご郵送くださいますようお願い申し上げます。

なお、先に行われました次期会長選挙によって選出された次期会長と会長から指名を受けた次期幹事、次期編集委員長は、今回の評議員選挙の被選挙者にはなれません。また、会則第12条により以下の会員は被選挙権がありません。以上ご留意ください。被選挙権のないものの氏名を記入した場合は、その票（記入欄）のみが無効となります。

\*\*\* 記 \*\*\*

◇被選挙権のない会員

松本達雄

◇次期役員一覧

次期会長 山本好和

次期幹事 小峰正史（庶務），原光二郎（会計）

次期編集委員長 原田浩

◇送付締切日：2008年1月15日（必着）

◇送付先：〒010-0195 秋田県下新城中野 秋田県立大学生物生産科学科内 日本地衣学会事務局気付選挙管理委員会宛

封筒に次期評議員選挙投票用紙在中と朱記下さい。

---

## ●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌80号290ページに。

### ●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 80, p. 290 of this publication.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 84, pp. 303-306: eds. Harada H. & Kinoshita K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 28 December 2007.

---

日本地衣学会ニュースレター 84号

発行日：2007年12月28日

編集：原田浩・木下薫

発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内

---

---

©2007 日本地衣学会 (©2007 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。